

事業所名 なでしこデイサービスセンター 放課後等デイサービス（就学児）プログラム 作成日 2025年 1月 31日

法人（事業所）理念	「みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち」 ～つなぐ・つながる・つなぎあう～					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> こどもが好きなもの、楽しいと感じることを用いて、「できた」「たのしい」「やってみたい」という気持ちや体験を重ね、自分自身が「かけがえのない存在」だと感じられるようにします。 こどもが将来「なりたい自分」に近づけるよう、コミュニケーション力や生活力をアップします。 こどもや家族の思いや感情を受け止め、信頼関係を築きます。 関係機関と連携を図り、包括的に支援します。 					
営業時間	8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	なし			
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣や集団活動に必要なスキルが身につけられるようにします。 「気持ちに名前をつける」「強さに段階をつける」「絵にして描いてみる」など、感情を客観視してコントロールする練習をします。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体遊びや道具操作などを取り入れ、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・触覚の成長を支援します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 「着席」「大人をよく見る」「話を聞く」「嫌なことも頑張ってみる」など、課題に向かう、学習する姿勢を支援し、「頑張ってよかった」と感じられるように関わり方や内容を工夫します。 視覚、聴覚等の感覚を十分に使って遊んだり道具操作をすることで、認知機能（外部からの情報に対して理解・判断・実行するための機能）の発達が促せるようにします。 適切な情報処理やコミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を考えます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 「要求」「報告」「聴く」「模倣」「観察する」など、自分も周囲も大切にするコミュニケーションを学びます。 言葉だけではなく、ジェスチャーやカードなど、こどもに合った方法と一緒に考えます。 社会的に不適切とされる行動も、こどもにとっては何らかの問題に対処している行動と捉え、丁寧に観察や聴き取りを行い行動の背景を探ります。そして、社会的にも適切な行動を考え、こどもが身につけられるよう工夫します。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 見立て遊びやごっこ遊びなどを通して、少しずつ社会性が身に付くよう支援します。 「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など、社会生活で役立つスキルを身につけます。 ソーシャルスキルを使って適切な振舞いができ、「やってよかった」と感じられる体験となるようにします。 待つ時間や余暇の過ごし方と一緒に考えます。 				
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家族に支援場面の観察や参加の機会を提供し、こどもの特性を踏まえたうえで、日常生活で取り組めそうなことを具体的に伝えます。 「家族支援セミナー」や「おしゃべり会」を開催し、家族が気軽に気持ちを話せたり、つながるきっかけづくりをします。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 次のライフステージにスムーズに移行できるよう、必要に応じて関係機関（小学校、中学校等）に療育時の様子や支援方法を伝える等、情報提供したり、支援会議に出席したりします。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> こどもの情報や支援内容の共有など、必要に応じて関係機関（小学校、医療機関、行政等）と連携を図り、地域の中でより安全・安心な生活が実現できるようにします。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会等が実施する研修会等に積極的に参加します。 法人内研修に参加します。 年4回程度職場内研修を実施します。 外部の心理士と定期的にケースカンファレンスを行います。 管理職と定期面談し研修目標を定めます。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> クリスマスプレゼント（12月～1月） 家族支援セミナー（年2回） 保護者のおしゃべり会（年1回程度） 				